

# 平成 23 年度 学校自己評価システムシート ( 県立進修館高等学校 )

目指す学校像	明るく活力にあふれ、「進徳修業」の精神に満ちた人間を育成する、地域が誇りに思える学校。
--------	---

重点目標	1 確かな学力の向上と進学・就職実績の向上 2 規律ある態度と豊かな心の育成及びエコでクリーンな学校づくりの推進 3 学校情報の積極的な発信と地域の活力を結集した学校作り
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	10名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					学校関係者評価			
年度目標					年度評価(3月13日現在)			
実施日 平成24年3月16日								
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の徹底と大学進学を目指す応用力、高度な専門的能力の伸長を目指し、授業改善を一層図る必要がある。</li> <li>新1学年総合学科及び工業科の新系列による教育課程の実施にあたり、具体的・効果的な展開に取り組む必要がある。</li> <li>多様な進路実態を踏まえ、3年間を見通し、計画的な進路指導の充実を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学力向上に向けた授業研究の推進</li> <li>②校外教育機関との連携推進</li> <li>③学力向上補習や進学講習の充実</li> <li>④個に応じた履修計画の決定支援</li> <li>⑤生徒の進路希望を実現する、きめ細かな進路指導の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教科内研修の充実と、各教科による研究授業の実施</li> <li>②予備校等の外部講師による研修会等の実施</li> <li>③放課後の組織的な補習等の実施</li> <li>④各学科の系列等に関する計画的な履修指導の実施</li> <li>⑤キャリアガイダンスおよびインターンシップの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業研修会等を2回以上実施したか</li> <li>②外部教育機関を活用した研修会を1回以上実施し、教育活動に還元できたか</li> <li>③成績優良者が前年比3%以上増加、および欠点保有者が3%以上減少したか</li> <li>④希望調査に基づく履修指導を実施し、適切な選択ができたか</li> <li>⑤四年制大学合格者数100人以上、就職希望者の内定率が100%になったか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各教科内での研修は不十分な面が見られたが、予備校等での研修には延べ15名(昨年3名)が参加した。</li> <li>②ベネッセによる進学指導研修を実施。</li> <li>③成績優良者は前年比10~20%の増加となった。成績不良者も20~30%増加。資格合格率は70%に達しなかった。</li> <li>④教育計画係を中心に複数回の三者面談や二者面談を実施し、適切な履修指導を実施することができた。</li> <li>⑤四年制大学合格者数は、現在72人、就職希望者の内定率は100%が達成できた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善の一環としての研修が不十分な面が見られた。今後、一層の授業改善を目指すためには、授業研修の組織化が必要である。</li> <li>AO入試、推薦入試だけでなく、実力試験での合格、入学後に必要な学力の充実をさらに図る必要がある。</li> <li>成績不良者の割合が増加した。基礎学力向上指導など学習指導の充実を図る必要がある。</li> <li>大学・短大希望者は、4月当初96名であったが、現在89名が進学を決定している。補習や就職支援員による面接指導の充実など生徒の実態に応じた指導方法の改善が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員セミナー等への参加がかなり増え、授業研究を進めていることは大変良いことである。今後は校内でも授業研究等を組織的に推進し、進学実績や資格取得にも結びつけられるとさらによい。</li> <li>四年制大学への進学が二極化し、全体では進学率が落ちている。きちんと分析して進学率を上げて欲しい。</li> <li>生徒の学習面などでの二極化は避けられないことである。それぞれのきめ細かな進路指導をお願いしたい。</li> <li>就職率100%達成は大変すばらしいことである。</li> <li>過去には部活動の実績や資格取得を用いた進学が多かった。もっとできると思うので検討して欲しい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつや時間を守るなどの基本的な生活習慣の徹底、規範意識の向上を図るため、積極的な生徒指導を推進する必要がある。</li> <li>多様な生徒に対応する、生徒理解・生徒支援の体制を充実させる必要がある。</li> <li>部活動活性化を通じ学校生活に張りを持たせ、学校の特色化を図る必要がある。</li> <li>エコ活動と校内環境の美化に積極的に取り組む必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①組織的・重点的な生徒指導の推進</li> <li>②生徒支援体制の活用</li> <li>③部活動の加入率の向上と高い目標を持たせる指導の充実</li> <li>④エコ活動と環境美化への積極的な取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①全教員によるチャイム トゥチャイムの徹底</li> <li>・生徒指導部と各学年の連携を強化し、組織的・重点的な生徒指導の推進</li> <li>・挨拶の励行と身だしなみ指導の徹底</li> <li>②外部機関との連携により、生徒・保護者への教育相談、カウンセリングの充実</li> <li>③各部活動の実績および活動に関する目標の明確化</li> <li>④ゴミの減量と分別の徹底</li> <li>・月1回の大掃除の実施</li> <li>・こまめな消灯や節水の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業の開始・終了時間が厳守できたか</li> <li>・生徒指導案件が10%以上減少したか</li> <li>・生徒アンケートの基本的な生活習慣・マナー項目達成率が80%以上になったか</li> <li>②総合教育センター等の外部機関と積極的に連携したか</li> <li>③部活動の実質的な加入率が増加したか</li> <li>・各部活動の実績および活動目標が達成できたか</li> <li>④大掃除や毎日の清掃、こまめな消灯を実施し、エコでクリーンな学校が実現できたか</li> <li>・年間の光熱費5%の削減を実現できたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業の開始・終了時間の厳守については概ね達成。</li> <li>・生徒指導案件数22%減少達成</li> <li>・毎日登校指導を行い、服装頭髪は改善、遅刻は20%減少欠席10%減少した。</li> <li>・基本的な生活習慣・マナー項目達成率は67%であった。</li> <li>②特別支援コーディネーターを講師として発達障害に係る、生徒観察、研修会を実施</li> <li>③部活動の実質的な加入率は横ばいとなったが、全国大会入賞、国体や関東大会出場の一部活動もあった。</li> <li>④近隣地域の清掃活動を新たに実施し、光熱水費も10%以上削減することができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>登校時間や授業の開始・終了時間など時間を守る指導が定着してきている。</li> <li>校則等規則の遵守、授業規律の改善については改善の必要がある。</li> <li>生徒指導案件数は減少傾向であり、さらに学年との連携を深めた生徒指導体制の充実を図る必要がある。</li> <li>特別支援コーディネーターを招いた研修では、一定の理解を深めることができた。</li> <li>今後も、継続的に研修を実施していく必要がある。</li> <li>部活動の加入率の向上は残念ながら達成できなかった。今後、部活動に意欲的な生徒の入学を積極的に図る必要がある。</li> <li>エコ活動は十分な成果をあげることができた。次年度も継続して節約に努める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣、服装頭髪等については、登下校の様子を学校の外から見ているはつきりわかるほど指導の効果が現れている。</li> <li>学校をあげて取り組む体制ができればすばらしい学校になる。地域住民も期待しているので是非お願いしたい。</li> <li>特別支援教育の研修は大変良いことである。今はどこの高校でも特別支援を必要とする生徒が入学している。教育センター、特別支援学校等と連携しながら、教職員も特別支援の手法を身につける必要がある。</li> <li>部活動への加入生徒が増加しないことは残念である。文化部でも本校の特徴的な部活動をもっと強化・振興していく必要がある。</li> <li>校内や近隣地域でも清掃活動を推進し、エコでクリーンな学校になりつつあるように思える。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>特色ある学校情報の発信をさらに推進する必要がある。</li> <li>高校への進学指導を充実させるため、中学校等との情報交換など連携をさらに強める必要がある。</li> <li>地域連携を深め、地域の力を学校に活かし、学校の力を地域に還す取組みの充実を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①あらゆるメディアを通じた学校情報の積極的な発信</li> <li>②中学生、保護者等に対する本校の理解度の向上</li> <li>③学校自己評価、連携教育、スポーツや芸術を、通じた交流、施設開放などの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①HP、進修館通信の充実</li> <li>②学校説明会、授業公開の充実</li> <li>③学校自己評価アンケートの実施と活用</li> <li>・部活動、学習等に関する小中学校との連携事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①情報発信の充実・拡大ができたか</li> <li>②学校説明会及び授業公開の参加者が前年比10%以上増加したか</li> <li>③学校評議員会や学校評価懇話会の意見を教育活動に反映したか</li> <li>・小中学校と継続的な連携を行ったか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①HPは、年間150回以上更新し、保護者向け一斉メールシステムも構築した。</li> <li>②学校説明会を1回追加し、年間5回とし、参加者も10%増加した。</li> <li>③第1回の評議員会等の意見を受け、生徒の身だしなみ指導を積極的に進めた。</li> <li>・中学校への出前授業や小学校でのふれあい交流を行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPでの教育活動発信、中学校訪問は、効果があった。学科別学校案内作成など情報手段の充実が必要である。</li> <li>追加説明会、イブニング説明会は、効果が高かった。入試制度の変更に伴いより丁寧な説明会の実施が必要。</li> <li>中学校での出前授業、中二生の高校訪問は、本校を知って貰う上で効果的であった。他校での実施も進めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPの改善充実はできたようである。更に外部の公的機関などにも広報場所を開拓する必要がある。</li> <li>学校説明会等で生徒募集を精力的に実施している状況は良くわかる。それが今回の入試により方向性に現れているようだ。</li> <li>出前授業等の実施は効果的であるが、中学校の部活動等の交流がもっとあって良いと思う。小学校でのふれあい交流などももっと増やしたらいいかがか。</li> </ul>

